

<報道発表資料>

令和6年7月12日

令和4年度の一般廃棄物（ごみ）の 排出及び処理状況等について —ごみの削減及びリサイクルに向けたライフスタイルを—

埼玉県内の令和4年度における一般廃棄物（ごみ）（以下「ごみ」という）の排出及び処理状況等について、調査結果を取りまとめたので公表します。

ごみの総排出量は、令和3年度と比べて減少しました。ここ10年間の推移をみると前年度を上回ることもありましたが、減少傾向にあります。

ご家庭での食品ロスの削減やリサイクルできるごみの分別の徹底等、今後ごみの削減やリサイクルを意識したライフスタイルを実践していただくよう、お願いします。

1 ごみの排出状況

ごみの総排出量は222.4万トンで、前年度に比べて2.0%減少しました。

そのうち、生活系ごみ排出量は165.2万トンで、前年度より2.7%減少しました。

また、事業系ごみ排出量は49.6万トンで、前年度より0.7%増加しました。

2 ごみの処理状況

(1) リサイクル量

リサイクル量は54.3万トンで、前年度に比べて1.0%減少し、リサイクル率は24.4%で、前年度に比べて0.2ポイント増加となりました。

(2) 最終処分量

最終処分量は8.4万トンで、前年度と比べて2.0%減少しました。県民1人1日当たりの最終処分量は31グラムで、前年度に比べて1.9%減少しました。

最終処分量がこのレベルを維持した場合、県内最終処分場の令和4年度末時点での残余容量（162万 m^3 ）は約23年分に相当します。